

新規検討対象物質に係る測定法提案一覧(6物質)

No.	CAS RN	物質名称	①測定範囲 OELの1/10から2倍が 測定範囲に入っていれ ば○ 不明確ならば△ データなしならばND	②抽出/脱着率または 添加回収率 値が75%以上ならば○ 75%未満ならば△ データなしならばND	③保存安定性 値が90%以上ならば○ 90%未満ならば△ データなしならばND	④破過 ○はOELの2倍で破過 の可能性なし △はOELの2倍で破過 の可能性あり データなしならばND	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含む) △:要注意(備考参照) P:検証や他の方法の探 索が必要	総合評価の実用上の判 断 ○ or P(○物質のみ表 示)	提案する測定方法	捕集法	溶解法	分析法	備考
1	86	リン酸トリフェニル	○	○	ND	—	△	○	ろ過捕集—ガスクロマトグラフ分析方法	セルロースエステル混合メンブランフィル ター(φ37mm、孔径:0.8μm、バックアップ フィルター付 3P カセット入り) 1~3 L/min 3.3~400 min	脱着溶媒:ジエチルエーテル	ガスクロマトグラフ-蛍光光度検出器 (GC/FPD)	・捕集後できるだけ速やかに測定する
2	87	2,4,6-トリニトロトルエン	○	○	○	○	○	○	固体捕集—ガスクロマトグラフ分析方法	Tenax-GC(100 mg/ 50 mg) 1 L/min 60 min	溶媒脱着:アセトニトリル	ガスクロマトグラフ-ECD法	・爆発粉体がある場合には、捕集剤の前段にガラス繊維ろ紙 を設置する
3	77	ジエチルアミン	○	○	○	○	○	○	固体捕集—液体クロマトグラフ分析方法	XAD-7(80 mg/40 mg) 0.2 L/min 50 min	脱着溶媒:テトラヒドロフラン(50 mg/mL NBD-Cl含有)	高速液体クロマトグラフ-蛍光検出器(HPLC- FL)	
以下R4年度検討対象物質													
4	74	フェニルグリシジルエーテル	○	○	○	○	○	○	固体捕集—ガスクロマトグラフ分析方法	合成樹脂活性炭捕集管 0.1L/min	二硫化炭素 1mL	ガスクロマトグラフ-FID分析法	
5	96	カーボンブラック	○	—	○	—	○	○	ろ過捕集—重量分析方法	テフロンバインダーガラス繊維ろ紙 2 L/min	—	重量分析方法 0.1 mgが測定できること	
6	108	過酸化水素	○	○	○	○	○	○	ろ過(反応)捕集—吸光光度法	硫酸チタニル添着石英フィルター 1L/min, 240 min	1M 硫酸、10 mL	吸光光度法、410 nm	・捕集時と保管時には遮光することが望ましい